

住民主導型地域活性化事業を活用し、地域で整備していただきたい。また、竹松地区の防災公園については、周辺の避難場所の状況から不足していないと判断している。また、緊急時の避難場所として今富城跡を指定する考えはないが、活用していただくことはいろいろなとこで考えている。

新幹線新大村駅周辺地域 整備事業について

水上 亨 議員

Q 知事は2022年の新幹線開業予定を東京オリンピックに合わせ、最大2年3カ月の短縮を国へ要望しているが、オリンピック関連の大型事業による建設資材の高騰や労務単価の上昇、労務者不足等が懸念されている中、周辺地域整備は間に合うのか。また、新大村駅周辺に大学誘致の構想もあるが、新たな教育機関の職業教育専門学校を誘致する考えは。

A 新幹線開業が前倒しとなった場合の新幹線駅前周辺地域の整備スケジュールについては、事業計画の再検討の必要があるが、東京オリンピック開催に間に合うよう、県や関係機関と調整して事業を進めたい。また、職業教育専門学校を誘致は大学や大学院、専門学校も含めて、新幹線駅前のま

ちづくりの中核にできるのではないかと考えている。

おおむら桜を もっと売り込む公園整備を

大崎 敏明 議員

Q 大村公園はさくらの名所であるが、ソメイヨシノが主であり、おおむら桜がどこにあるのかわかりにくい。おおむらちゃんを前面に出して大村市のPRをしている中で「おおむら桜ライオンズクラブ」から森園公園への記念植樹の申し出があっている。これを契機に森園公園をおおむら桜の名所にしてはどうか。

A 森園公園については、森園公園再整備計画において、公園の眺望をいやすため樹木の植栽は極力抑えることとしている。そのため、空港に降りられた方々が、よく見えるようなところにスポット的におおむら桜を植栽することになると思われる。

上諏訪町・変則六差路の 安全対策は急務だ

村崎 浩史 議員

Q 昨年3月議会において市長は、久原沖田線の上諏訪町の変則六差路の安全対策に関して、用地買収を含めた抜本的な安全対策に

取り組むと答弁されたが、その後の進捗状況はどうか。また、久原沖田線の開通や新工業団地の造成が予定されており、更なる交通量の増加は確実であるため、取組みを急いでほしいが、今後の予定はどうか。

A 昨年、暫定的ではあるが、長崎県警察本部において新たな信号機の設置や横断歩道の移動、新設が実施され、長崎県東振興局において舗装工事や歩道補修工事が実施された。また、交差点改良計画を作成し、それをもとに地権者や地元町内会、関係機関と協議し、平成27年度の事業化に向けて調整を行っている。

車イス利用者の高速バス停 のバリアフリー化を

村上 信行 議員

Q 大村インターの高速バス停への車イス利用者のタクシー乗り入れを要望し続けてきたが、法律で禁止されており、大村インターのためだけの法改正は無理とのことであったが、木場スマートインターにバリアフリー通路の設置が高速バスを県営バス木場バス停に停車できるようにし、障害者も健全者も同じ社会生活ができるように実現すべきだと思いがどうか。

A 木場スマートインターチェンジの整備工事において、上り車線はバス停にスロープが設置されるが、下り車線は事業区域に入っていないため、バリアフリー化工事が計画されていない。そのため、下り車線のパーキング内へのバス停の設置も含めて、何らかの対策をとれないか、西日本高速道路と継続して協議したい。



行財政・一般

旧大村浜屋の買い取り 意見調整は十分か

伊川 京子 議員

Q 昭和58年に建てられた旧大村浜屋の建物と土地を買い取り、1億2,600万円について、市は改修して地域包括ケアシステムの拠点にするなどの計画を示しているが、改修費や内容の詳細は不明である。民間事業者や市の複数の施設が入る予定となっているが、民間を含めて市役所内部の関係する課の意見調整など十分に組み込まれたのか。

A 大村浜屋の閉店から1年以上が過ぎ、旧大村浜屋跡の再開発については、マンション建設や商業施設の誘致など民間主導での開発を希望していたが、民間で対